

備前市事務事業評価表

事務事業名	マザースクール事業	コード	02-02-01-03	担当課係	保健課 健康係
事業実施期間	昭和52年～	担当者	塩飽 順子	電話	64-1820
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	母子保健			
	施策	一貫した母子保健の推進			

事業について	
目的	母親が子どもの成長発達を受け入れ、子育ての方向性を見出せるよう支援する。
対象 (誰のために)	主に言語及び情緒の発達が気になる幼児とその母親
内容	集団遊戯訓練、個別訓練、個別相談等

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
実施回数	168 回		
参加延人数	1,215 人		
参加実人数	40 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,344	国県補助金等	1,929	直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	3,917	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	6,261	市債	4,332	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	必要人員	0.62 人		
	結果指標名	実施回数		
	結果指標量	168		
	単位	回		
	対前年比	—	0.00%	
結果指標②	事業費	6,261,000 円		
	単位当たりコスト①	37,267 円		
	結果指標名	参加延人数		
	結果指標量	1,215		
	単位	人		
対前年比	—	0.00%		
事業費	6,261,000 円			
単位当たりコスト②	5,153 円			

事業の成果			
成果指標名	アンケート結果 (不安や悩みの軽減につながった割合)	式又は説明	参加者アンケート調査結果 (ただし、参加者全員からの回答ではない)
成果指標量	17年度 88.8		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	95	到達目標年度	平成20年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	同じ目的を持った教室を2箇所で開催しており、コスト面、仲間づくり、共通した情報提供の観点から18年度以降一箇所に統合実施することが望ましい。対象者の本事業に対するニーズは高く今後も実施内容を検討しながら継続的に実施すべき事業である。	評価区分 <A~E> C
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度目標値	結果指標量① 実施回数 135回 (教室一本) 結果指標量② 参加延人数 1,000人 成果指標量 90%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	2箇所実施の教室の一本化	H18.4~	コスト削減、参加者同士の交流の増加
有効性	参加者全員にアンケート調査実施	H18.4~	参加者全員にアンケートをとることで、事業の有効性について評価でき、今後の内容検討に役立つ。